

日本結核 非結核性抗酸菌症学会
研究奨励賞に関する申し合わせ

I. 総 則

1. 本賞は本会会員の若手研究者の研究を奨励することを目的とし、結核および非結核性抗酸菌症に関する優れた研究業績を発表した本会会員に対して、選考の上、本学会総会において授与する。
2. 本賞は賞状ならびに賞金をもってこれにあてる。

II. 選 考

3. 受賞候補業績（以下、受賞業績という）の範囲は、原則として過去1年以内に（選考年度の9月号までの1年以内）本学会の会誌に掲載された論文、および本学会の会員の推薦による業績とする。
4. 受賞業績は、将来の発展が期待される40歳未満の若手研究者によるものとする。
5. 受賞業績は、申請業績を中心に評価し、原則として、First Authorである論文を重視する。
6. 会員推薦の場合には、自薦・他薦を問わないが、別途定める「研究奨励賞推薦書提出要項」記載の書類が必要である。なお、学会賞選考委員は、同所属機関の者を推薦も選考もできない。
7. 受賞業績は学会賞選考委員会において選考され、理事会において承認を受け、選考年度の研究奨励賞として社員総会へ報告するものとする。
8. 受賞者は原則として2名以内とする。

2019年6月6日 一部改定

2020年10月11日 一部改定

研究奨励賞推薦書提出要項

2020年度研究奨励賞受賞候補業績の推薦書を下記の要項に従って提出してください。

I. 提出書類（A4判にて1～6を1部とし、11部提出）

1. 表紙（タイトルは2020年度研究奨励賞被推薦者とし、氏名・生年月日・所属・業績の題目を記載）。
2. 推薦者名（多数の場合は連記）ならび推薦理由（1,000字以内）。
3. 被推薦者の学歴および研究歴。なお、研究歴の下に当該業績または他の業績に対して受賞したことのある場合はその旨付記すること。
4. 業績一覧。
5. 当該業績（掲載論文）およびそれに関連する業績の論文（3篇以内）の別刷。
6. 業績一覧には、被推薦者の名前に下線を引き、提出日直近の評価で、1) Impact Factor (数値) 2) Citation Index (引用数) を各原著論文に付し、3) 被推薦者が Corresponding Author である論文には自身の名前に*を付して明示すること。なお、1), 2) については Thomson Reuters の Web of Science を使用すること。
7. その他の事項については、「研究奨励賞に関する申し合わせ」を参照のこと。

II. 締切日

2020年10月1日（木）消印。

III. 推薦書類の送付先等

表書に研究奨励賞推薦書類と明記し、特定記録郵便や（簡易）書留等で日本結核 非結核性抗酸菌症学会事務局宛に送付。

付記：

1. 研究奨励賞に関する書類は特別の事情がないかぎり返戻しない。